

(S2020-38 用)

研究課題名	膠原病に合併する肺高血圧症の診療状況調査
研究期間	2020年12月10日から2022年3月31日
研究の目的と意義	<p>肺高血圧症は様々な原因により肺動脈圧が持続的に上昇した病態で、右心不全／呼吸不全による息切れや心臓の負担が徐々に進行し、生命にかかわる難治性疾患です。特に膠原病に合併する肺高血圧症は、特発性の肺高血圧症と比較し予後不良であることが多く、早期に診断することが大切です。</p> <p>そのため、心臓超音波検査や右心カテーテル検査などによる早期診断・早期治療が重要とされています。当科に通院する膠原病患者さんにおける、肺高血圧症の診療状況（頻度やスクリーニングの状況、治療成績）を把握し、循環器内科など他科とも連携することで、肺高血圧症を合併された患者様によりよい医療を提供させて頂くことを目的としております。</p>
研究方法	2008年4月1日から2022年3月31日までの間に、当科および関連施設を受診した膠原病合併肺高血圧症の患者全例、および強皮症、混合性結合組織病、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎の4種類の膠原病基礎疾患を有する患者全例を対象とし、肺高血圧症合併の有無、右心カテーテル検査やスクリーニング検査（安静時および運動負荷心臓超音波検査、肺機能検査、胸部X線検査、心電図検査、血液検査など）の結果について診療録からデータを取得し、これを分析します。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名や患者番号などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出いただくこととしますので、遠慮なくお申し出下さい。
結果の公表	本研究により得られた情報は、学会発表や学術雑誌に投稿掲載することにより公表します。その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科 医長 荃田 祐司 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）
その他	研究責任者

(研究実施体制等)	京都府立医科大学 免疫内科学教室 病院教授・川人 豊 研究代表（統括）者 京都府立医科大学 免疫内科学教室 <u>特任助教</u> ・木田 節 共同研究機関： 京都第一日赤病院（リウマチ内科・角谷 昌俊）：コホート分担 京都第二日赤病院（膠原病内科・荃田 祐司）：コホート分担 京都大学（環境安全保健機構附属健康科学センター・松崎 慶一）：デー タ解析担当
-----------	---